

## 取り扱い説明書&あみぐるみとポーチのつくり方

この度は、タカラトミー「あむあむたまご ポンポン ハローキティ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。



使える毛糸の種類は  
並太毛糸

対象年齢6才以上  
保護者の方とお読みください

乾電池は使用しません。  
NO BATTERIES REQUIRED.

© 1976, 2014 SANRIO CO., LTD. TOKYO, JAPAN ©

※イラストと写真は実際の商品と多少異なる場合があります。※写真にありませんあみぐるみ用の線とあみぐるみマスコットとポーチ以外の毛糸とフェルトはセット内容に含まれておりませんのでご了承ください。

### 警告(けいこく)

保護者の方へ必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針は、機能上、尖っていますので危険です。

### 注意(ちゅうい)

- 毛糸を首にかけてぶざげたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸を指などに巻きつけないでください。血が通わなくなり、危険です。
- 毛糸を編んでいる途中、シリンダー内のペラやフック等に指や髪などの毛や衣服などをはさまれないように注意してください。
- プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

<使用上のお願ひ> ○ご使用前に、取り扱い説明書(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。○性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないよう注意してください。○はさみを使う時は十分注意してください。○火のそばに近づけないようにしてください。○プラスチック袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

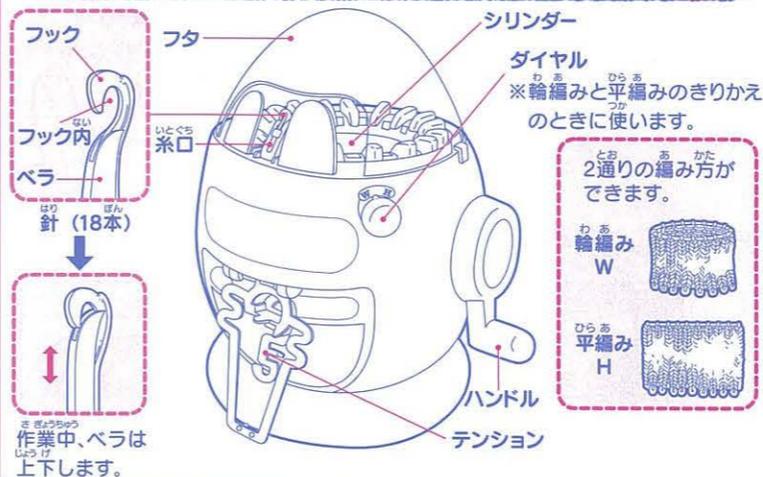
### 目次

●編みはじめる前の準備.....P1	●平編みの編み終わり.....P4
●輪編みの編み方.....P2	●編みはじめのしまつの仕方.....P5
●編み終わったら.....P2	●ポンポンのつくり方.....P5
●輪編みの編み終わり.....P3	●キティちゃんのみぐるみマスコット.....P6
●編みはじめのしまつの仕方.....P3	●キティちゃんのポーチ.....P8
●平編みの編み方.....P4	●キティちゃんのみぐるみ.....P10
	●フェルトワッペン用テンプレート.....P11

### セット内容

- 本体.....1コ
- テンション.....1コ
- ポンポン糸巻.....1コ
- 毛糸ガイド.....1コ
- 毛糸針.....1本
- 毛糸(赤、白).....各1コ
- 綿.....1コ
- フェルト(黄色、黒、赤).....各1枚
- 取り扱い説明書(本書).....1冊

### あむあむたまご ポンポン ハローキティの各部の名前



### フタのはずし方

フタを左(反時計まわり)にまわし、もちあげてはずします。(セットするときは逆の手順で行ってください。)



### テンションのつけ方

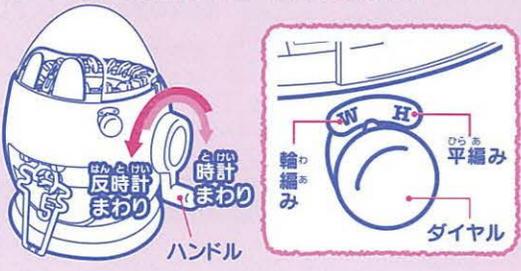
図のようにテンションの凸部を本体の穴に片方ずつさしこんでください。



※セット内容の毛糸は「キティちゃんのみぐるみマスコット」「キティちゃんのミニボーチ」をつくるためのものです。練習用はお家にある毛糸で行いましょう。

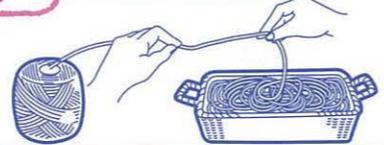
輪編み

本体を平らなテーブルなどの上におき、ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



毛糸をほぐしましょう

毛糸は毛糸玉の中心から、かごやあき箱などに、ほぐして入れましょう。



油性ペンで印をつけよう!

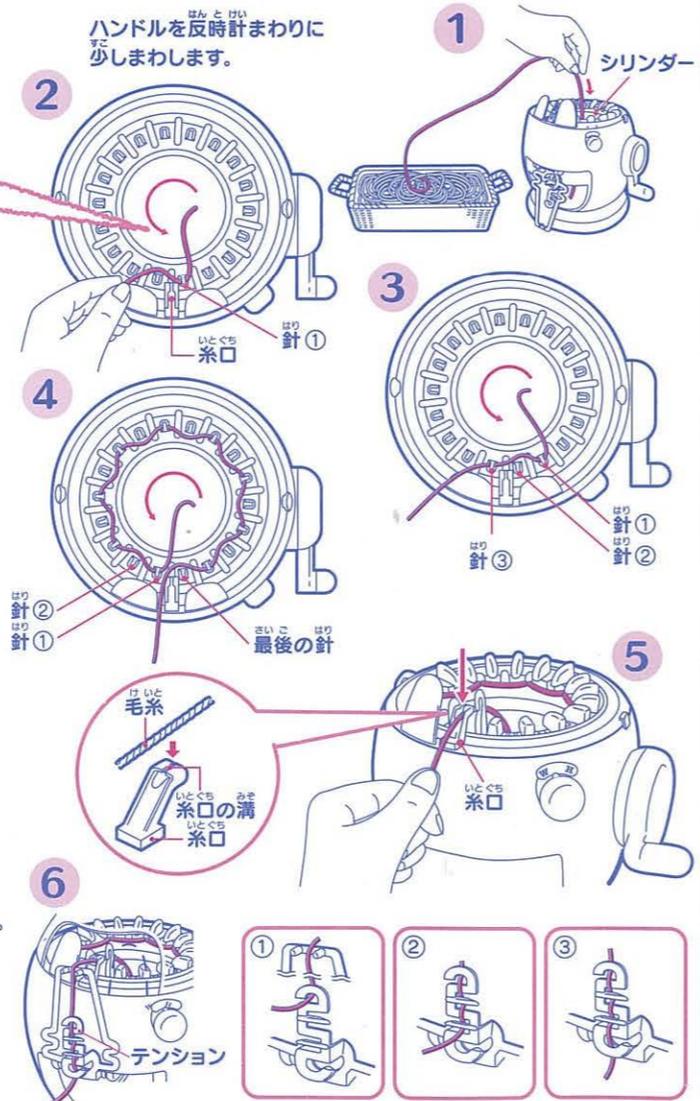
- ①ダイヤルを平編み(H)に合わせます。
- ②ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



※遊んでいる途中で失敗したら、はさみで毛糸を切らずに本体からはずして編み終わりをほどこきましょう。

毛糸をセットしましょう

- ①毛糸の先を図のように、約20cmくらいの中へたらしめます。
- ②針に毛糸をかけます。糸口の右側にある針①のフック内にかかけます。
- ③ハンドルを時計まわりに少しまわして、針②には通さず、針③のフック内に毛糸を通します。
- ④このように針の前、後ろと交互に毛糸をかけてゆき、シリンダーを1回転させます。ただ正しく毛糸がかかっている場合は、毛糸は最後の針の後ろを通っていきます。
- ⑤糸口の溝に、上から毛糸を通します。
- ⑥テンションを上へもちあげ、毛糸を通します。
- ⑦フタをセットして、輪編みの準備完了です。



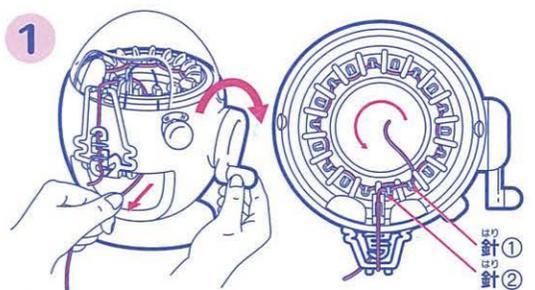
輪編みの仕上がり

編み地の直径約6cm 長さは自由

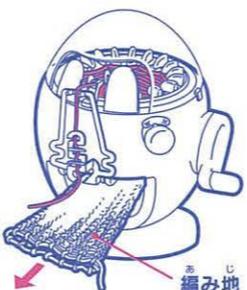


- ①ハンドルをまわして編んでいきます。輪編みのときはいつも、時計まわりにまわしてください。最初の2周は中にたらしめた毛糸を軽く引っ張って、ハンドルをまわしてください。

注意:ハンドルは乱暴にまわさないでネ!  
:ハンドルはゆっくり一定の速さでまわしてネ!  
:土台を左手でしっかりと押さえて、右手でハンドルをまわします。  
:ハンドルを戻したり反時計まわりにまわさないでください。

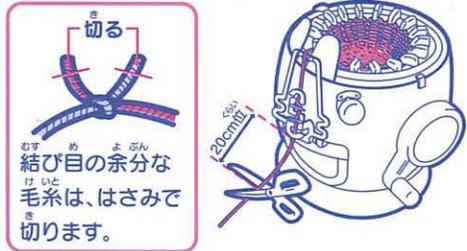


- ②編み地が長くなってきたら手前に出しましょう。編み地のねじれはときどきなおしましょう。



編んでいる途中も、なるべく下から軽く引っ張るようにしましょう。(ハンドルを数回まわしたら、編み地を下から引っ張る...など。)

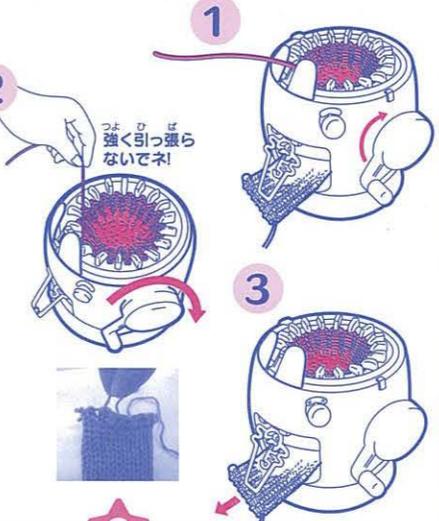
毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは...



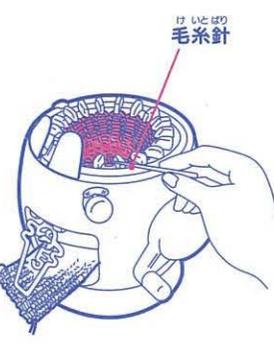
図のように毛糸を切り、新しい毛糸をむすびつけます。毛糸を結んだら、これまで通りハンドルをまわせば続きを編めます。

編み終わったら

- ①テンション・糸口から毛糸ははずします。
- ②毛糸をもって、ハンドルを時計まわりにまわし、1回転させます。
- ③編みあがった作品は、本体の下の取り出し口からそとに取り出します。編み目がほどけないように、注意しましょう。
- ④編み終わりの毛糸をちょうど1段(1周分)ほどき、約20cmを残して毛糸を切ります。



もしも、毛糸が針からはずれないところがあつたら、セット内容の毛糸針ではずしましょう。





輪編みの編み終わりのしまつの仕方

★注意：編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

しまつをしやすくするために…

編み終わりの毛糸を通しやすくするために、本体からはずした後に手で残り糸をゆっくり引っぱり、1段(1周)ほどいってください。  
※毛糸をはさみで切るのは、1段ほどいた後約20cmのところまで切ってください。

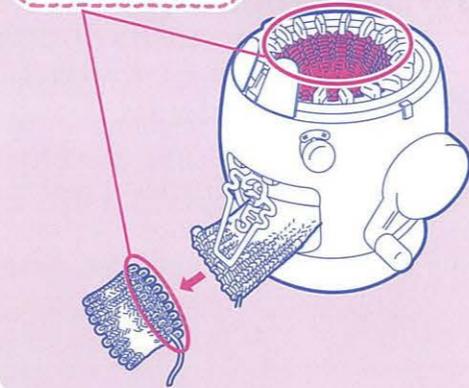


針に毛糸を通しやすくするために…

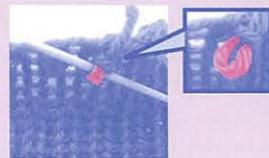
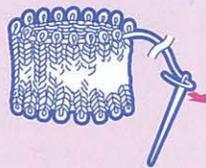
セット内の毛糸針に通しやすくするために、毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。  
通したらセロハンテープははずしましょう。



編み終わり



- ① 残り糸に毛糸針を通します。 ② 輪になっている編み目に毛糸針を通します。 ③ 1周すべて毛糸針を通します。



しぼる場合



- 1周した後、残った毛糸をゆっくりと引っぱり穴をふさぎます。
- 残った毛糸のとなり2コ目の編み輪に毛糸針を入れます。



- 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通して結びます。

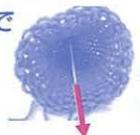


<残った毛糸をかくす場合>

- てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



- 内側から通した毛糸を引っ張ります。  
※余分な毛糸は、はさみで切るか、中に入れます。



毛糸針を引っ張る

輪編みの編みはじめのしまつの仕方

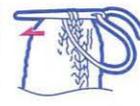
★注意：編み地に一周通す必要はありません。

しぼる場合

- 残った毛糸をゆっくりと引っぱり、穴をふさぎます。



- 残った毛糸のとなり2個の編み輪に毛糸針を入れます。



- 針を通して引っぱり、輪をつくりそこにまた針を通してむすびます。

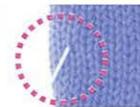


<残った毛糸をかくす場合>

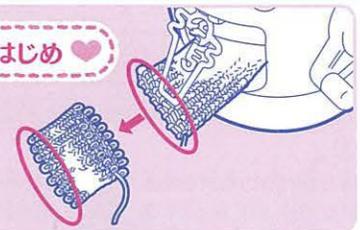
- てっぺんから毛糸針を内側に入れます。



- 内側から通した毛糸を引っぱります。  
※余分な毛糸ははさみで切るか、中に入れます。



編みはじめ



しぼらない場合

- 最後の編み輪にもう一度、毛糸針を通します。



- 毛糸針を引っぱり、輪をつくりそこにまた毛糸針を通してむすびます。



平編みの編み方

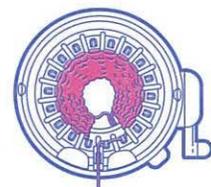
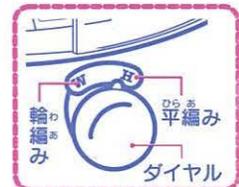


★平編みの仕上げ★

編み地の直径約10cm 長さは自由



- フタをはずして、ダイヤルを平編み(H)に合わせます。



- ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。

注意：無理をしてそれ以上まわすと、カチカチという音が出ますが、これは安全装置がはたらいた音なので故障ではありません。

- 編む前にあき箱などにほぐしておいた毛糸を、1ページ<毛糸をセットしよう>の手順を見てセットしましょう。(今度は時計まわりにハンドルをゆっくりまわします。)



- 平編みはハンドルが動かなくなったら、今度はハンドルを左(反時計まわり)にまわし、止まったらまた時計まわりにまわします。この作業をくり返します。  
※一列目は内側にたらしした毛糸を軽く引っ張って編みましょう。

注意：ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

- ダイヤルを輪編み(W)に合わせて、編み地をとりはずします。2ページの<編み終わったら>と同じ方法ではずしてね。



平編みの編み終わり・編みはじめのしまつの仕方

平編みの編み終わりのしまつの仕方

★注意:編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけますので、気をつけましょう。

- ① 編み終わりの毛糸を毛糸針に通し、輪になっているすべての編み目に、毛糸針を通します。
- ② 図のように毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。  
※しぼらないように注意しましょう。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸は切りましょう。

平編みの編みはじめのしまつの仕方

- ① 編みはじめの毛糸を毛糸針に通します。
- ② 毛糸の輪をつくり、毛糸針を通して結びます。
- ③ 毛糸が残ったら、編み地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸は切りましょう。

平編みで編んだ編み地を2つ折りにして両サイドをとじる処理法

- ① 毛糸針に毛糸を通し、図のように目を広げながらとじていきます。



- ② 毛糸をつれないように引っ張りとじます。

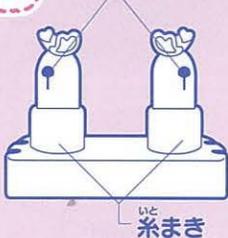


ポンポンのつくり方

ポンポン糸巻



糸はさみ



糸まき

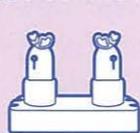
ポンポンの大きさがえらべます

糸まきをまわして、間隔を変えるとポンポンの大きさをええられます。

小 約5.5cmのポンポン

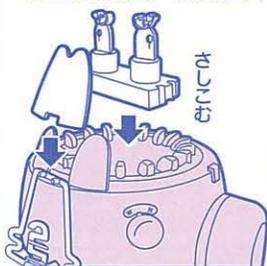


大 約6.5cmのポンポン



1 ポンポン糸巻をセットします

本体のフタをはずし、ダイヤルを輪編みにします。次にポンポン糸巻をツメの間にさしこみ、毛糸ガイドをとりつけます。



ポンポン糸巻

※ポンポン糸巻の上下を間違えないようにしてください。

2 毛糸をセットします

毛糸の先を糸はさみの穴に入れ、下にさげて糸を固定したあと、手で2~3回巻き付けます。次に毛糸ガイドをとおしてテンションに毛糸をとおします。



30cmくらいに切った毛糸を図のように置きます。

糸の先をはさむ

手で2、3回巻きつける

3 毛糸をまきつけます

ハンドルをくるくるまわして、ポンポン糸巻に毛糸を巻き付けていきます。適量の毛糸を巻き付けるには、ハンドルを50~100回くらいまわします。



5

4 毛糸を結びます

30cm位に切った毛糸をで図のように、巻き終わった毛糸のたばの中央を軽くむすんで片方の糸まきを回転させとりはずします。とりはずしてから、かたく二度むすびしておきます。

あらかじめセットしておいた毛糸をむすぶ

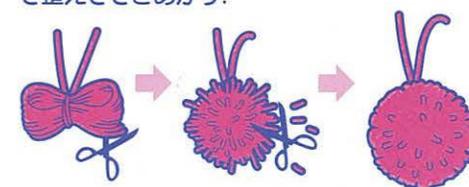


小の場合は片方を、大の場合は両方の糸まきを回転させ、毛糸をとりはずす



5 形を整えます

ハサミで毛糸のたばの両はしを切りひらいて球にしたら、作りたい大きさに毛糸をハサミで整えてできあがり!



ヘアブラシで毛糸をほぐすとかわいいポンポンができるよ!



キティちゃんのみぐるみマスコット

★段数を数えやすくするために★

- ① ダイヤルを平編み(H)に合わせます。
- ② ハンドルを左(反時計まわり)に止まるまでまわします。
- ③ 止まった位置に油性ペンで印をつけます。
- ④ ダイヤルを輪編み(W)に合わせます。



★後処理をしやすくするために★

編み終わりの毛糸を輪に通しやすくするために、つくり方に書かれている段数は1段多くなっています。各パーツ毎に本体で編み終わったら編み終わりを1段ほどいてから、後処理をしてください。※編み終わったら本体からはずして、1段ほどいてから約20cmのところをはさみで切ってください。※編みはじめは約10cmを本体中央にたらしってください。

※セットした毛糸は段数に含まれません。

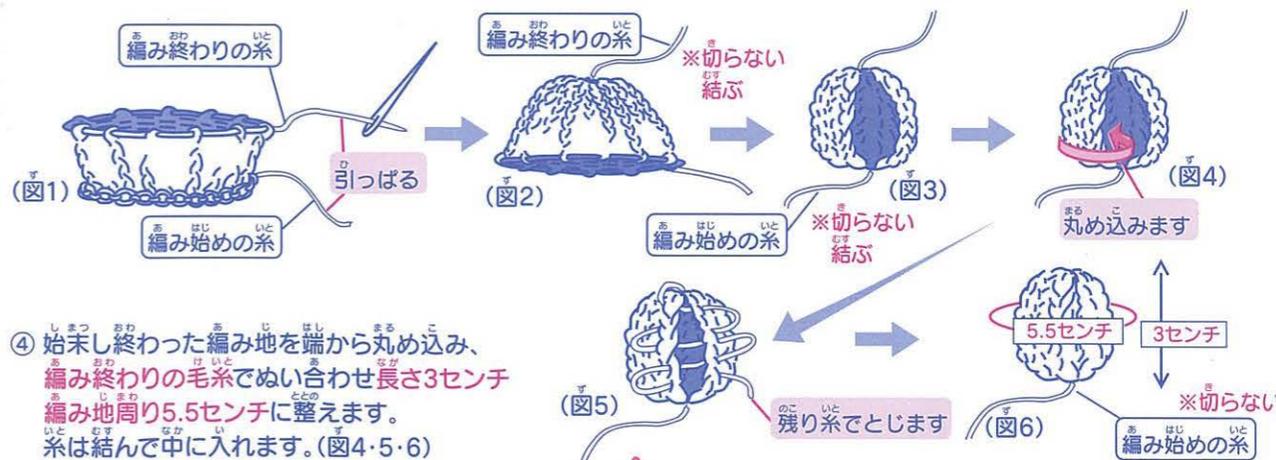
用意する物

☆セット内……●毛糸(白・赤) ●毛糸針●フェルト(セット内の目・鼻・ひげ・ボタン・リボン)●綿

キティちゃんのからだの各部分を作ります

●手・足を各2個作ります(白の毛糸/輪編み)

- ① ダイヤルを輪編みにして5段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどききます。
- ② 3ページの「輪編み編み終わり(しぼる場合①②③)」まで始末し、糸は切りません。(図1・2)
- ③ 編みはじめの残り糸も引っばってしぼります。糸は結んで残します。(図3)



- ④ 始末し終わった編み地を端から丸め込み、編み終わりの毛糸でぬい合わせ長さ3センチ編み地周り5.5センチに整えます。糸は結んで中に入れます。(図4・5・6)

6

●足を2個作ります (白の毛糸/輪編み)

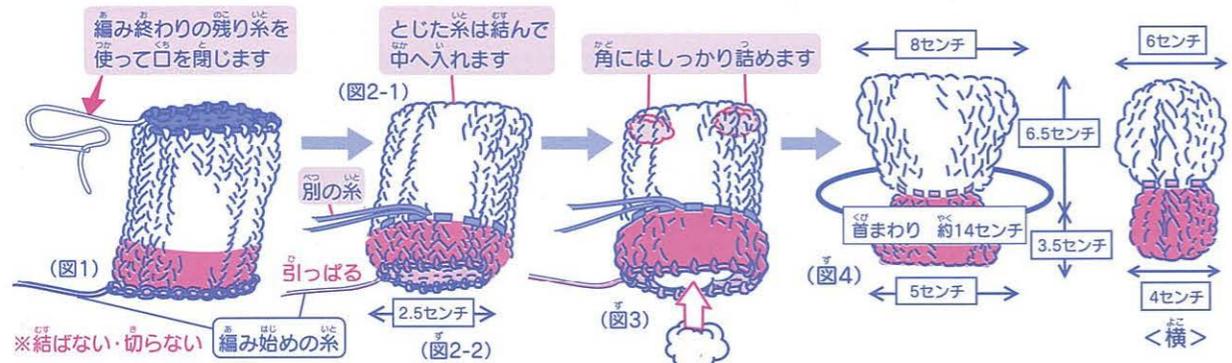
①ダイヤルを輪あみにして6段編みます。※作り方は手と同じです。

●頭と胴体 (つながったもの) を1個作ります (白の毛糸・赤の毛糸/輪編み)

- ダイヤルを輪編みにして赤い糸で7段編みます。
- 続けて白い糸で14段編みます。  
(白の糸に変えるタイミングは★ポイントを参照)
- 編み地を本体からはずして、1段ほどき3ページの「編み終わりの糸の始末」で、残り糸を輪になっている編み目に一周通します。糸は結ばず残します。
- 編み始め・編み終わりの糸を四角い編み地になるように引っばります。糸は結ばず残します。(図1)
- 編み終わりの残り糸で10ページの「★とじ方1」の方法で白い編み地の口を閉じます。糸は結んで中へ入れます。(図2-1)

★ポイント・・・頭と胴は2色の毛糸で編みます。色を変えるタイミングをおぼえます。

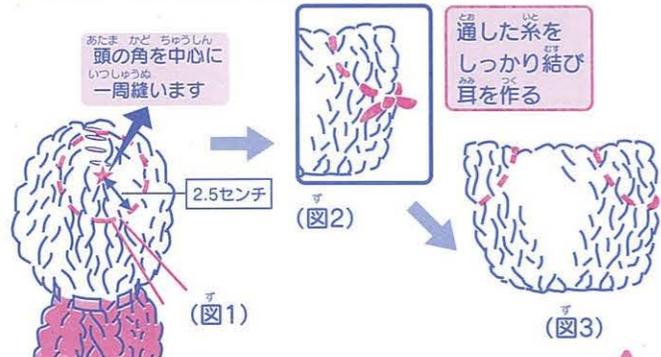
※糸の色を変えるタイミング



- 編み始めの赤い糸は口の大きさが2.5センチになるように引っばります。糸はむすんで残します。(図2-2)
- 別の白い糸30センチを赤い編み地と白い編み地の境目を一周通します。糸結ばず、切りません。(図3)
- 綿を詰めます。まず、白い編み地の両角に特にしっかり詰め、次に頭と胴体に綿を詰め(図3・4)のサイズに整えます。
- 首まわりが約14センチになるように頭と胴体の境目に通した糸を結び、残り糸は中に入れます。(図4)
- 赤い残り糸を使って10ページの「★とじ方1」の方法で赤い編み地の口をとじます。糸は結んで中へ入れます。(図4)

●耳を作ります (白の毛糸)

- キティちゃんの頭の両方の角を目にします。
- 別の白い糸20センチを頭の角を中心に2.5センチの編み地を一周通します。(図1)
- 糸を結んで耳の形を整えます。(図2)
- 糸は中へ入れます。(図3)

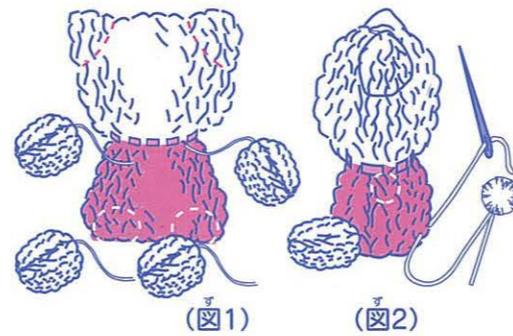


●しっぽを1個作ります (白の毛糸・厚紙)

ポンポン糸巻を使って5.5センチのポンポンを作り、直径2センチになるよう切りそろえます。



キティちゃんのからだの各部分を組立てます



- 手・足は胴体に残り糸を使って図の点線に沿って縫い付けます。糸は結んで中に入れます。(図1)
- しっぽは片方の残り糸を付け位置の編み地に通しもう片方の残り糸と結びます。糸は中へ入れます。(図2)

目・鼻・ボタン・リボン・ひげは写真を見ながらセット内のフェルトをはります

キティちゃんのポーチ

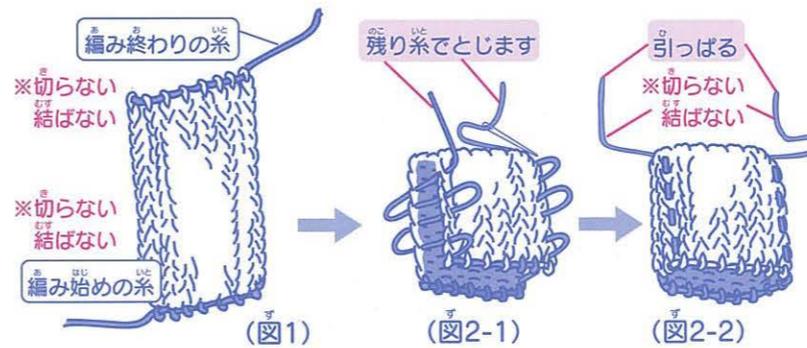
用意する物

☆セット内・・・●毛糸(白) ●フェルト(セット内の目・鼻・ひげ・リボン) ●綿

ポーチの各部分を作ります

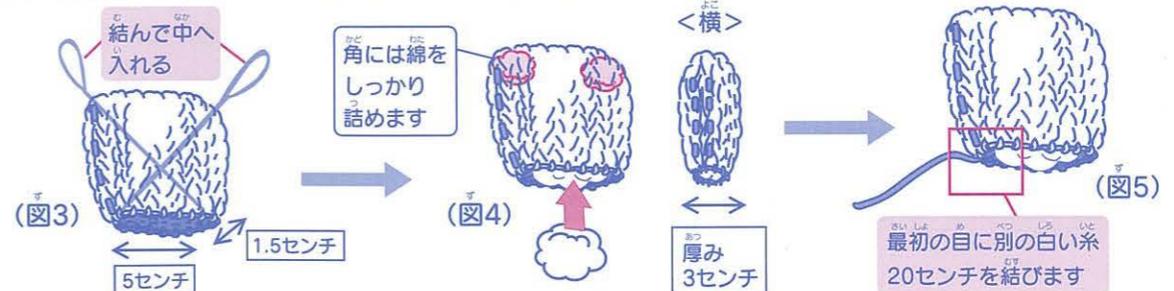
●キティちゃんの顔(ポーチのふた)を1個作ります (白の毛糸/平編み)

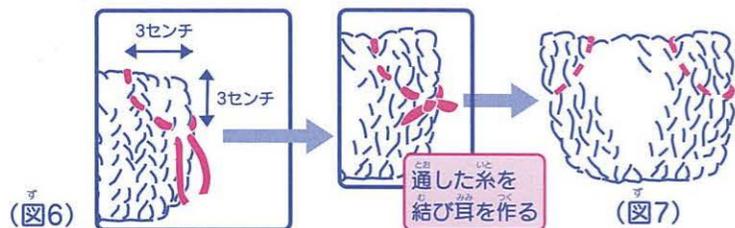
- ダイヤルを平編みにセットして40段編みます。編み地を本体からはずして、1段ほどきます。
- 5ページの「平編み、編み終わりの処理①」まで始末します。糸は結ばず残します。



- 編みはじめ・編み終わりの糸を四角い編み地になるように引っばります。糸は結ばず残します。(図1)
- 編み地を二つ折りにし、両側をそれぞれ残り糸で縫い合わせます。5ページの「両サイドをとじる方法」を参照。残り糸は結ばず残します。(図2-1)

- 図2-2の残り糸を引っばり、編み地の口を横1.5センチ・正面5センチになるようしぼります。残り糸は結び中に入れます。(図3)
- 綿を詰めます。まず白い編み地の両角にしっかり詰め次に編み地の厚みが平らに3センチになるよう入れます。(図4)
- 別の白い糸20センチで編み地の口を10ページの「★とじ方2」の方法でとじます。糸は結んで中へ入れます。(図5)

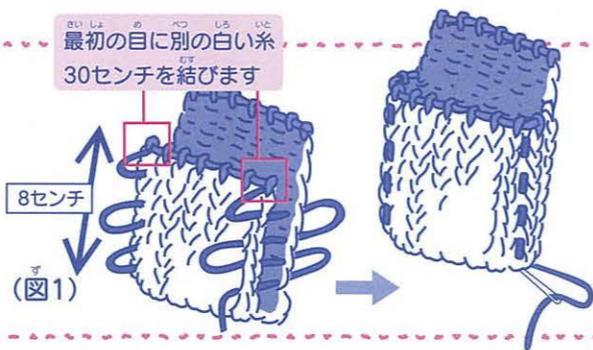




- ⑧ 次に顔の両角を耳にします。別の白い糸20センチで角から3センチの編み地の前・後一同を縫います。(図6)
- ⑨ 通した糸を結んで耳の形を作ります。糸は中に入れます。(図7)

●ポーチの本体を1個作ります (白の毛糸/平編み)

- ① ダイヤルを平編みをセットして44段編みます。
- ② キティちゃんの顔の①②と同じ方法で四角い編み地を作ります。残り糸は結んで編み地に縫い込みます。
- ③ 端から8センチの所で折り曲げて、それぞれ別の白い糸を30センチ使い縫い合わせます。糸は結び縫い込みます。(図1)

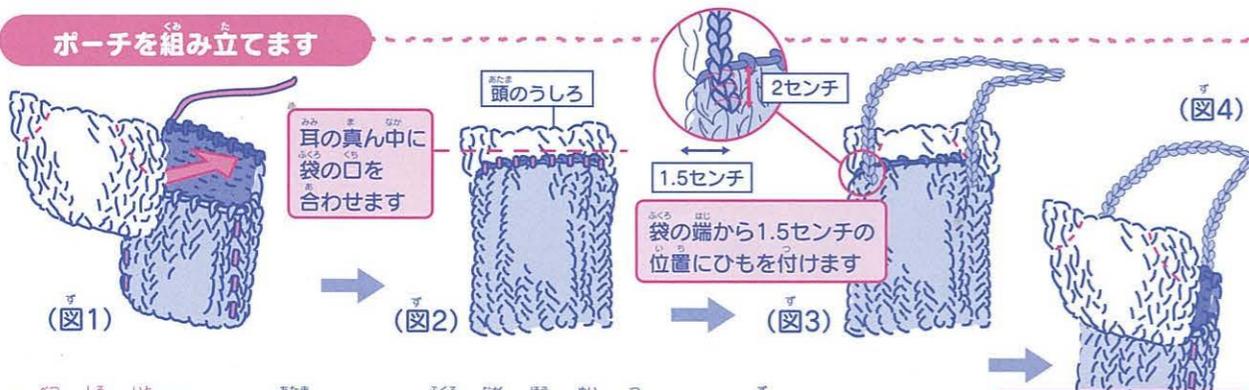


●持ち手のひもを1本作ります (白の毛糸/指編み)

くさり編みの作り方



ポーチを組み立てます



- ① 別の白い糸30センチで頭(うしろ)と袋の長い方を縫い付けます。(図2)
- ② ひもを袋の端から1.5センチの位置に、長さ2センチ縫い付けます。(図3)

目・鼻・ひげ・ボタン  
リボンは写真を見ながら  
セット内のフェルトを  
はります

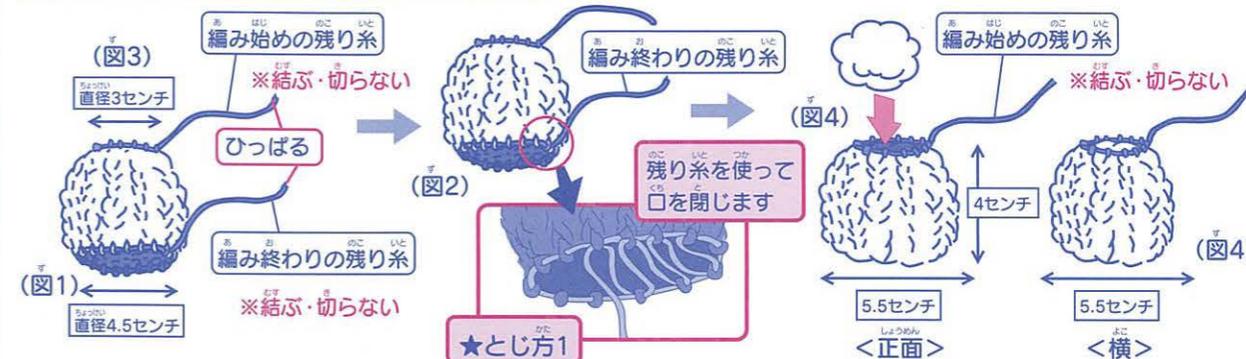
キティちゃんのみぐるみ

用意する物

- 毛糸(白・赤) ●フェルト(目・鼻・ひげ・ボタン・リボン) ●綿

●キティちゃんの胴体を1個作ります (赤い毛糸/輪編み)

- ① ダイヤルを輪あみにして8段編みます。編み地を本体からはずして1段ほどききます。
- ② 3ページの「編み終わりの糸の始末」で、残り糸を輪になっている編み目に一周通します。糸は結ばず残します。
- ③ 編み地の口の直径が4.5センチになるように、編み終わりの残り糸を引っばります。糸は結んで残します。(図1)
- ④ 残りの糸を使って「★とじ方1」の方法で口を閉じます。糸は結んで中へ入れます。(図2)
- ⑤ 編み始めの残り糸を編み地の口が直径3センチになるように引っ張ります。糸は結んで切りません。(図3)
- ⑥ 胴体の大きさが(図4)になるように綿を詰めます。

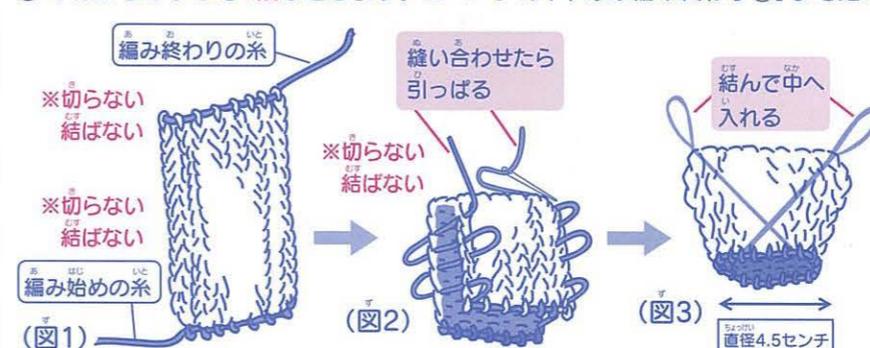


●手・足を各2個/しっぽを1個作ります (白の毛糸/輪編み・ぼんぼん)

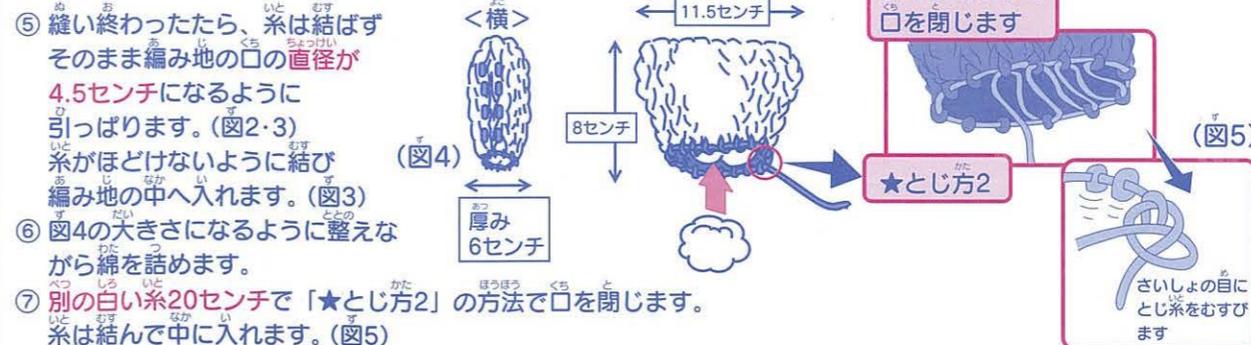
※手・足・しっぽは「キティちゃんのみぐるみマスコット」の手・足・しっぽと同じ大きさ同じ作り方です。

●頭を1個作ります (白の毛糸/平編み)

- ① ダイヤルを平編みにセットして47段編みます。
- ② 本体からはずして1段ほどききます。5ページの「平あみ編み終わり①」まで始末します。



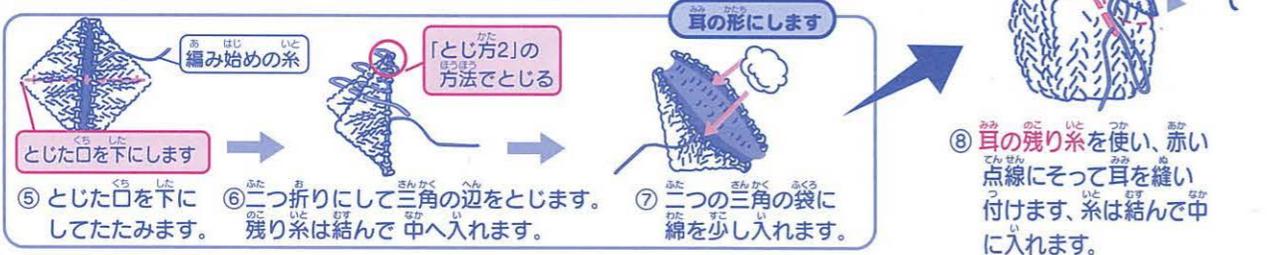
- ③ 編み始め・編み終わりの糸を四角い編み地になるように引っばります。糸は結ばず残します。(図1)
- ④ 編み地を二つ折りにし、両側をそれぞれ残り糸で縫い合わせます。5ページの「両サイドをとじる方法」を参照。残り糸は結ばず切りません。(図2)



- ⑤ 縫い終わったら、糸は結ばずそのまま編み地の口の直径が4.5センチになるように引っばります。(図2・3)糸がほどけないように結び編み地の中へ入れます。(図3)
- ⑥ 図4の大きさになるように整えながら綿を詰めます。
- ⑦ 別の白い糸20センチで「★とじ方2」の方法で口を閉じます。糸は結んで中に入れます。(図5)

●耳を2個作ります (白の毛糸/輪あみ)

- ①ダイヤルを輪編みにセットして6段編みます。
- ②本体からはずして1段ほど「編み終わりの糸の始末」で残り糸を輪になっている編み目に一周通します。糸は結ばず残します。
- ③編み終わり・編みはじめの糸を引っぱって四角い編み地にします。残り糸は結ばず残します。(図1)
- ④編み終わりの残り糸を使い編み地の口を10ページの「★とじ方1」の方法で閉じます。残り糸は結んで中へ入れます。(図2・3)



- キティちゃんを組立てます
- ①胴体の残り糸を使って図の点線に沿って頭と胴体を縫い付けます。(図1)
  - ②残り糸は結び、糸はからだの中へ入れます。
  - ③8ページの「キティちゃんのみぐるみマスコット」と同じ方法で手・足・しっぽを縫い付けます。(図2)

シリンダーが止まりハンドルだけがまわっている状態

- こんなとき安全装置がはたらきカチカチと音がします。
- きりかえダイヤルを平編み(H)に合わせ、ハンドルをまわし、止まってもまわし続けたとき。
  - 並太毛糸より太い毛糸などを使って、きつくなってもハンドルをまわし続けたとき。

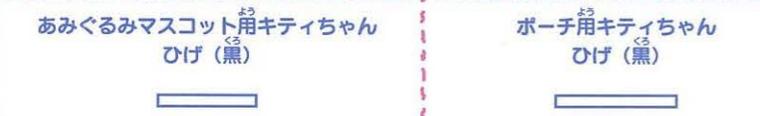
あむあむたまごボンボンハローキティ Q&A

- Q.うまく編めない。
- A.1ページめの「♥毛糸をセットしましょう♥」をよく読んでからはじめてください。
- Q.目が飛んでしまいます。
- A.毛糸をだばらせ、テンションにかけてから一定の速度でハンドルをまわし、毛糸の状態を確認しながら編んでください。輪編みの場合は、ハンドルを逆まわしにしないでください。
- Q.毛糸がテンションや針の中にかからまってしまうシリンダーがまわらなくなりました。
- A.セット内容の毛糸針で編み目をゆるめてはじめてください。毛糸は十分ほぐし、からまらないように注意して編んでください。

- Q.毛糸玉を編む前にほぐさないで、そのまま編んでしまいハンドルをまわしたらカチカチと音がした。
- A.毛糸がテンションに引っかかり安全装置がはたらきカチカチと音がします。毛糸をほぐしましょう(→P1)を読んでから編みはじめてください。
- Q.毛糸の結び目でテンションに通らず引っかかってしまった。
- A.結び目は小さくし、余分な毛糸は切ってください。2ページの「♥毛糸がなくなりそうになったり、色をかえたいときは…」をよく読んでね。
- Q.付属の毛糸以外で編めますか?
- A.付属の毛糸に近い並太を使用してください。
- Q.のみぐるみ以外のものはできますか?
- A.できます。いろいろアレンジしてね。

フェルトワッペン用テンプレート

この図面を別の紙に写しとったものを型紙として使用してください。はさみで切る際には、十分注意してください。



家庭用品品質表示法に基づく表示

毛糸:アクリル系100% 表示者:株式会社タカラトミー 0570-041031

タカラトミーでは、「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意をはらって製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

タカラトミー お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10

製品や修理については下記お客様相談室までお問合せください

電話受付時間 月曜日～金曜日(祝日・祭日を除く)10～17時

PHS、IP電話等からのお問合せは03-5650-1031

**0570-041031** タカラトミーサポート 検索

<http://www.takaratomy.co.jp/support/index.html>

株式会社 タカラトミー ©TOMY

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで <http://www.takaratomy.co.jp>